ScaledAgile.SAFe-Agilist.v2026-07-28.q99

試験コード：	SAFe-Agilist
試験名称：	SAFe 6 Agilist - Leading SAFe (SA) (6.0)
認証ベンダー：	Scaled Agile
無料問題の数：	99
バージョン：	v2026-07-28
ページの閲覧量：	109
問題集の閲覧量：	1126

https://www.jpnshiken.com/shiken/ScaledAgile.SAFe-Agilist.v2026-07-28.q99.html

質問: **1**
PIプランニングの最後に、依存関係が解消され、リスクが対処された後に、信任投票が行われます。信任投票のプロセスを最もよく表しているのはどれですか？
A. マネージャーが投票します
B. チームとARTsの投票
C. 各人が投票する
D. 事業主の投票
正解: **B** (コメントを発表する)

質問: **2**
最終計画レビューの際、プログラムのリスクはROAMを用いて評価されます。ROAMの各文字は何を表しているのでしょうか？
A. 修正済み、省略済み、割り当て済み、マスター済み
B. 解決済み、所有済み、承認済み、軽減済み
C. 承認済み、提供済み、有効化済み、最大化済み
D. 記録済み、注文済み、割り当て済み、移動済み
正解: (正解を表示します)

質問: **3**
どのバックログに、ARTによる実装を目的とした機能が含まれていますか？
A. ソリューションバックログ
B. チームバックログ
C. ポートフォリオバックログ
D. プログラムバックログ
正解: (正解を表示します)

質問: **4**
ユーザーのビジネス価値と時間的制約は、何の構成要素ですか？
A. 機能の受入基準
B. ストーリーポイントの見積もり

C. 遅延コスト
D. 製品ビジョン
正解: **(**正解を表示します**)**
説明
ユーザーのビジネス価値と時間的制約は、遅延コストの構成要素です。遅延コストとは、製品や機能の提供が遅れることによる経済的影響を定量化する方法です。遅延コストは、次の4つの要素で構成されます。
ユーザーまたは顧客価値、時間的制約、リスク軽減または機会創出価値、およびジョブの規模または期間。遅延コストは、製品開発フローによってもたらされる経済的価値を最大化する手法である加重最短ジョブ優先（WSJF）を使用して機能の優先順位付けを行うために使用されます。参照：ARTバックログとWSJF、SAFe原則#1

質問: **5**
SAFeの原則である「知識労働者の内発的なモチベーションを引き出す」には、目的意識と最小限の制約以外に、他に何が必要なのでしょうか？
A. イノベーション
B. インセンティブに基づく報酬
C. 透明性
D. 自律性
正解: **D (**コメントを発表する**)**

質問: **6**
ある企業がSAFe導入ロードマップを採用し、現在幹部のトレーニングを行っている。
マネージャーやリーダーにとって、次のステップは何でしょうか？
A. リーン・アジャイル変革エージェントを育成し、ロードマップを推進し、合意形成を図る
B. ポートフォリオおよび製品管理のリーダーを育成し、症状に対処する前に問題を解決するよう指導する。
C. 現在の状態に対してプロセスマッピングを実行する
D. 組織の連携を開始するために、バリューストリームとアジャイルリリーストレインを特定する
正解: **D (**コメントを発表する**)**

質問: **7**
ビジネス部門と開発部門の間で信頼関係を築くにはどうすればよいでしょうか？
A. 毎日、生産に新たな価値を創造する
B. 予測可能性を提供する
C. イテレーションをチームにとって安全な領域として維持する
D. 配送パイプラインの自動化
正解: **B (**コメントを発表する**)**

質問: **8**
「製品ごとに価値を正確に指定する」とは、一体何に関係するのでしょうか？
A. アジャイルマニフェスト
B. リーン思考
C. SAFeの原則
D. SAFeのコアバリュー
正解: **(**正解を表示します**)**
「製品ごとに価値を明確に定義する」ことは、リーン思考の中核をなす考え方です。リーン思考とは、無駄を排除し、価値提供を最適化することを目的とした哲学であり、一連の原則と実践です。価値とは、顧客が対価を支払う意思のあるもの、あるいは顧客のニーズや欲求を満たすものを指します。価値は製品ごとに定義されます。つまり、各製品やサービスは、顧客にどのような価値を提供し、他の製品やサービスとどのように異なるのかを明確かつ具体的に定義する必要があります。製品ごとに価値を明確に定義することで、価値提供プロセスにおける曖昧さ、混乱、非効率性を回避できます。参考文献 :Thriving in the Digital Age、SAFe Principle #1

質問: **9**
SAFeにおけるDevOpsの目的の一つは何ですか？
A. 自動化の削減
B. 配送の迅速化
C. フィードバックループの排除
D. サイロの増加
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **10**
プログラムインクリメント（PI）の推奨期間はどれくらいですか？
A. 3〜4週間
B. 1〜2週間
C. 6ヶ月
D. 8〜12週
正解: **D (**コメントを発表する**)**

質問: **11**
対象市場を継続的に理解するための方法は何か？
A. デザイン思考
B. 参加型予算編成
C. リーンポートフォリオマネジメント
D. リーンシステムエンジニアリング
正解: **(**正解を表示します**)**

デザイン思考は、ターゲット市場を継続的に理解するための手法です。デザイン思考は、共感、アイデア創出、実験、実装を含む、人間中心の問題解決アプローチです。デザイン思考は、チームが顧客の真のニーズと欲求を発見し、それらのニーズに対応する革新的なソリューションを生み出し、迅速なフィードバックループを通じて仮説を検証し、顧客を喜ばせる価値を提供することを支援します。デザイン思考は、チームがSAFeにおける顧客中心主義というコアコンピタンスを達成するのに役立ちます。参考文献：顧客中心主義 デザイン思考

質問: **12**
SAFe導入ロードマップにおいて、コーチART実行の次に続く導入ステップはどれですか？
A. 経営幹部、リーダー、マネージャーの育成
B. 価値を中心とした組織化
C. 加速
D. より多くのARTとバリューストリームを立ち上げる
正解: **(**正解を表示します**)**
説明
ARTとバリューストリームをさらに立ち上げることは、SAFe実装ロードマップの「ART実行のコーチング」に続く実装ステップです。SAFe実装ロードマップは、企業がSAFeを構造的かつ確実に実装するのに役立つガイドです。このロードマップは、転換点に到達することからポートフォリオへの拡張、さらにその先までを網羅する12の重要なステップで構成されています。「ART実行のコーチング」は7番目のステップであり、最初のARTが立ち上げられ、SAFeプログラムコンサルタント（SPC）またはその他の専門家によってコーチングされます。
ARTとバリューストリームをさらに展開することは8番目のステップであり、最初のARTの学習と成功に基づいて、企業はSAFeの実装を他のバリューストリームとARTに拡大します。参考文献：
SAFe導入ロードマップ、ART実行のコーチング、ARTおよびバリューストリームの拡充

質問: **13**
SAFeにおいて、ケイデンスと同期を適用する例を教えてください。
A. PI計画会議の実施
B. ポートフォリオカンバンシステムの使用
C. クロスファンクショナルチームの構築
D. アジャイルリリーストレインへの予算配分
正解: **(**正解を表示します**)**
PIプランニングなどのイベントでは、リズムと同期が適用されます。
「PIプランニングは、複数のアジャイルチームの活動ペースに基づいた連携を実現します。同期化により、すべての関係者が連携し、協力することが可能になります。」

質問: **14**
リーンエンタープライズの中核となる能力のうち、組み込み品質の実践を推進する上で役立つものはどれですか？
A. リーンポートフォリオマネジメント
B. チームと技術の俊敏性
C. DevOpsとオンデマンドリリース
D. ビジネスソリューションとリーンシステムエンジニアリング
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **15**
DevOpsを効果的に活用しているバリューストリームについて、正しい記述はどれですか？
A. 顧客中心ではない
B. 製造過程でより多くの欠陥が漏れ出ている
C. これは運用バリューストリームです
D. フローを可能にする効果的な自動化機能を備えています。
正解: **D (**コメントを発表する**)**

質問: **16**
PIプランニングイベントにおいて、計画の調整はいつ合意されるのですか？
A. 分科会中
B. 経営レビューおよび問題解決会議中
C. 計画案の見直し中
D. コーチ同期中
正解: **(**正解を表示します**)**

有効的な**SAFe-Agilist**問題集はJPNTest.com提供され、**SAFe-Agilist**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**SAFe-Agilist**試験問題集を提供します。JPNTest.com SAFe-Agilist試験問題集はもう更新されました。ここで**SAFe-Agilist**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/SAFe-Agilist-mondaishu **113**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **17**
新しいアプローチは、いつ組織文化に根付かせるべきでしょうか？
A. 組織内で危機感が醸成された直後に、文化変革が起こる。
B. SAFeは現在の文化を尊重するため、文化を変えるべきではない。
C. 文化変革は、仕事の習慣の変化により最後に行われる。

D. SAFe導入を開始する前に、文化変革が必要となる。
正解: **(**正解を表示します**)**
SAFeはコッターの8段階変革モデルに基づいています。ワークブックには次のように記載されています。
「文化変革は最後に起こるものであり、最初に起こるものではない。それは、変革を成功させるための前提条件ではなく、結果なのだ。」
「文化は、新しいやり方が古いやり方よりも優れていることを実証できた後にのみ変化する。」これは、文化の変化は行動の変化に続くものであることを裏付けている。
出典：SAFeワークブック、変革を主導するセクション

質問: **18**
なぜ経営者はチームのPI目標にビジネス上の価値を割り当てるのか？
A. チームが最初に取り組むべきことを決定する
B. チームが仕事に関する意思決定を行えるようにする
C. チームがアーキテクチャのイネーブラーに取り組まないようにするため
D. WSJFの優先順位付けで行われた決定を覆す
正解: **(**正解を表示します**)**
説明
ビジネスオーナーがチームのPI目標にビジネス価値を割り当てる理由は、チームが業務に関する意思決定を行えるようにするためです。ビジネス価値とは、業務項目または成果物がビジネスにとってどれほど重要であるかを相対的に測る尺度です。チームのPI目標は、各チームがPIにおいて提供しようとする価値を反映したSMART（具体的、測定可能、達成可能、関連性、期限付き）な目標です。ビジネスオーナーは、プログラムのビジョンと目標との整合性に基づいて、各チームのPI目標にビジネス価値ポイントを割り当てます。これにより、チームは業務の優先順位付け、能力のバランス調整、依存関係の調整、価値提供に基づくトレードオフの実施が可能になります。参考文献：PI計画、ビジネスオーナー

質問: **19**
ポートフォリオカンバンの管理責任者は誰ですか？
A. 製品管理
B. 列車の運行エンジニアを解放する
C. ソリューション管理
D. リーンポートフォリオマネジメント
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **20**
分散型の意思決定環境においても、中央集権的な意思決定を維持すべき2種類の意思決定はどれか？（2つ選択）
A. 遅延によるコストが高い決定
B. 地域情報を必要とする決定

C. 大規模かつ広範な経済的利益をもたらす決定
D. 頻繁に行われる決定
E. 短期的には変更される可能性の低い決定
正解: **(**正解を表示します**)**
SAFeワークブックには次のように記載されています。
頻度が低く、長期にわたり、規模の経済効果が大きい意思決定は一元化する。」これには、報酬戦略やテクノロジー ・プラットフォームの選択といった戦略的な意思決定が含まれる。

質問: **21**
ポートフォリオカンバンの管理責任者は誰ですか？
A. ソリューション管理
B. リーンポートフォリオマネジメント
C. 製品管理
D. 列車の運行エンジニアを解放する
正解: **(**正解を表示します**)**
リーンポートフォリオマネジメントは、ポートフォリオカンバンの管理を担当します。ポートフォリオカンバンは、ポートフォリオエピックの構想から実装、完了までの流れを視覚化し管理するための手法です。ポートフォリオカンバンは、戦略と実行の整合性、需要と供給能力の優先順位付け、サイクルタイムと変動性の削減、コラボレーションとフィードバックの促進に役立ちます。リーンポートフォリオマネジメントは、SAFeにおけるビジネスアジリティの中核となる能力の一つです。リーンポートフォリオマネジメントは、戦略と投資資金調達、アジャイルポートフォリオ運用、ガバナンスにリーン思考とシステム思考のアプローチを適用することで、戦略と実行を整合させます。参考文献 :リーンポートフォリオマネジメント、ポートフォリオカンバン

質問: **22**
SAFeのどの成果物がエピックの流れを管理するために使用されますか？
A. チームカンバン
B. ポートフォリオカンバン
C. 解決意図
D. イテレーションバックログ
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **23**
SAFeの主な目的は、どのようなアイデアをスケールアップすることでしょうか？
A. 組織と機能の整合性
B. 技術ソリューションの提供
C. ビジネスアジリティ
D. リーンポートフォリオマネジメント
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **24**
最終計画レビューの際、プログラムのリスクはROAMを用いて評価されます。ROAMの各文字は何を表しているのでしょうか？
A. 解決済み、割り当て済み、軽減済み、所有者
B. 解決済み、所有済み、承認済み、軽減済み
C. 所有、緩和済み、アクティブ、解決済み
D. 所有済み、軽減済み、解決済み、承認済み
正解: **B** (コメントを発表する)

質問: **25**
ARTイベントについて、次のうち正しい記述はどれですか？
A. 検査と適応は、閉ループシステムを構築するために必要な唯一のARTイベントです。
B. デイリースタンドアップは、スクラム・オブ・スクラムズとプログラムオーナーの同期をクローズドループシステムに組み込む必要があるARTイベントです。
C. チームイベントはARTイベント内で実行され、ARTイベントは閉ループシステムを形成する。
D. ARTイベントはチームイベント内で実行され、チームイベントは閉ループシステムを形成する。
正解: **C** (コメントを発表する)

質問: **26**
SAFeの原則である「知識労働者の内発的なモチベーションを引き出す」には、目的意識と最小限の制約以外に、他に何が必要なのでしょうか？
A. 自律性
B. 透明性
C. インセンティブに基づく報酬
D. イノベーション
正解: (正解を表示します)
説明
自律性は、知識労働者の内発的動機を引き出すための要件の一つであり、目的意識や制約の最小化と並ぶ重要な要素です。自律性とは、個人やチームが他者からの過度な干渉や統制を受けることなく、自ら組織化し、自己管理を行い、業務に関する意思決定を行う能力を指します。
自律性は、知識労働者の創造性、革新性、主体性、そしてエンゲージメントを促進します。自律性は、リーン・アジャイル思考の要素の一つであり、SAFeのコアバリューの一つでもあります。参考文献：リーン・アジャイル思考、SAFeコアバリュー、SAFe原則第8条

質問: **27**

交渉後、チームPIの目標ビジネス価値スコアリングは誰が決定するのですか？
A. プロダクトマネージャー
B. アジャイルチーム
C. 事業主
D. スクラムチーム
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **28**
SAFeのリーン -アジャイル原則のうち、「早期かつ頻繁な提供」を重視しているものはどれですか？
A. 経済的な観点から考える
B. 価値を中心に組織する
C. 迅速かつ統合された学習サイクルで段階的に構築する
D. 価値の流れを途切れることなく確保する
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **29**
継続的デリバリーパイプラインは何を可能にするのか？
A. 大量配送
B. 技術的負債の増加
C. 継続的な学習
D. 継続的なリファクタリング
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **30**
リーン生産方式の柱のうち、顧客を仕事の消費者として捉えることに焦点を当てているのはどれですか？
A. フロー
B. 人と文化への敬意
C. イノベーション
D. 価値
正解: **B (**コメントを発表する**)**

質問: **31**
ビジネス目標を差別化する例を一つ挙げてください。
A. 戦略的テーマ
B. 解決意図
C. 企業目標
D. ポートフォリオビジョン
正解: **(**正解を表示します**)**

戦略的テーマは、差別化されたビジネス目標の一例です。戦略的テーマは、ポートフォリオを企業戦略に結びつける、具体的で項目化されたビジネス目標です。戦略的テーマは、ポートフォリオのビジョン、予算配分、バリューストリームの特定、エピックの優先順位付け、およびメトリクスの定義に関するガイダンスと方向性を提供します。戦略的テーマは、ポートフォリオを競合他社と差別化し、顧客にとって独自の価値提案を生み出すのに役立ちます。参考文献 :SAFeポートフォリオ、戦略的テーマ

有効的な**SAFe-Agilist**問題集はJPNTest.com提供され、**SAFe-Agilist**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**SAFe-Agilist**試験問題集を提供します。JPNTest.com SAFe-Agilist試験問題集はもう更新されました。ここで**SAFe-Agilist**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/SAFe-Agilist-mondaishu **113**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **32**
SAFeの原則である 知識労働者の内発的動機を解き放つ」には、他に何が必要でしょうか？
目的と使命？
A. イノベーション
B. 最小限の制約
C. インセンティブに基づく報酬
D. 透明性
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **33**
PIプランニングイベントにおいて、計画の調整はいつ合意されるのですか？
A. 計画案の見直し中
B. 経営レビューおよび問題解決会議中
C. コーチ同期中
D. 分科会中
正解: **(**正解を表示します**)**
説明
計画の調整は、PI計画イベントにおけるマネジメントレビューおよび問題解決会議で合意されます。マネジメントレビューおよび問題解決会議は、PI計画イベントの1日目の終わりに開催されるセッションです。このセッションでは、マネジメントチームがART内の全チームの計画案をレビューし、解決すべき問題やリスクを特定し、プログラム目標達成に必要な変更や調整を提案します。その後、マネジメントチームはPI計画イベントの2日目に、フィードバックと推奨事項を各チームに伝達します。参考文献 :PI計画、マネジメントレビューおよび問題解決

質問: **34**
リーン ･アジャイルのリーダーが模範を示す方法の一つは何ですか？
A. チームのバックログの優先順位付けによって
B. SAFeのリーン ･アジャイル思考、価値観、原則、実践をモデル化することで
C. 意思決定を集中化することによって
D. 組織のボトルネックを回避するためにSAFeを変更する
正解: **(**正解を表示します**)**
SAFeワークブックでは、 模範を示すリーダーシップ」をリーン ･アジャイルリーダーの基本的な行動として定義しています。リーダーは、以下の方法でこれを実現します。
* 飽くなき学習欲
* 真正性
* 感情的能力
* 勇気
* 他者を成長させる
* 分散型意思決定
ワークブックには明確に記載されています。
『リーダーは、望ましい職業倫理的行動を率先して示し、SAFeのリーン ･アジャイル思考、価値観、原則、実践を適用する。」

質問: **35**
交渉後、チームPIの目標ビジネス価値スコアリングは誰が決定するのですか？
A. 製品管理
B. 事業主
C. アジャイルチーム
D. RTE
正解: **(**正解を表示します**)**
事業主は、交渉を経てチームのPI目標の事業価値スコアリングを決定する人物です。
ビジネスオーナーは、特定のバリューストリームにおけるガバナンス、コンプライアンス、投資収益率（ROI）に関して、主要なビジネスおよび技術的な責任を負う重要なステークホルダーです。ビジネスオーナーはPI計画イベントに参加し、プログラムのビジョンと目標との整合性に基づいて、各チームのPI目標にビジネス価値ポイントを割り当てます。また、チームとプログラムのリスクが解決された後、最終的な計画と価値スコアを確認し、承認します。参考文献 :PI計画、ビジネスオーナー

質問: **36**
PIプランニングの最後に、依存関係が解消され、リスクが対処された後、信任投票が行われます。
投票に使用されるデフォルトの方法は何ですか？
A. 参加型投票

B. 推定ポーカー
C. 五拳
D. WSJF
正解: **(**正解を表示します**)**
ワークブックの詳細：
PIプランニングの最後に、チームはフィスト・オブ・ファイブ方式を用いて信頼度を投票で評価します。3点以上はコミットメントを示すものです。」

質問: **37**
SAFeの主な目標は何ですか？
A. 顧客中心主義
B. 価値に基づいた組織化
C. リーンポートフォリオマネジメント
D. ビジネスアジリティ
正解: **(**正解を表示します**)**
説明
SAFeの主な目標は、ビジネスの俊敏性を実現することです。ビジネスの俊敏性とは、市場の変化や新たな機会に革新的なソリューションで迅速に対応することで、デジタル時代において競争力を維持し、成功を収める能力のことです。
ビジネスの俊敏性を実現するには、ソリューション提供に関わるすべての関係者（ビジネスおよびテクノロジーリーダー、開発、IT運用、法務、マーケティング、財務、サポート、コンプライアンス、セキュリティなど）がリーンおよびアジャイルの手法を活用し、競合他社よりも迅速に革新的で高品質な製品とサービスを継続的に提供する必要があります。参考文献：デジタル時代の成功、ビジネスアジリティ

質問: **38**
SAFeにおけるPIプランニングの主な目的は何ですか？
A. 予算の承認
B. 年次レビューの実施
C. 回顧の代替
D. 共通のミッションに基づいてチームを同期させる
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **39**
SAFe導入ロードマップにおいて、コーチART実行の次に続く導入ステップはどれですか？
A. 価値を中心とした組織化
B. 経営幹部、リーダー、マネージャーの育成
C. 加速
D. より多くのARTとバリューストリームを立ち上げる
正解: **(**正解を表示します**)**

説明
ARTとバリューストリームをさらに立ち上げることは、SAFe実装ロードマップの「ART実行のコーチング」に続く実装ステップです。SAFe実装ロードマップは、企業がSAFeを構造的かつ確実に実装するのに役立つガイドです。このロードマップは、転換点に到達することからポートフォリオへの拡張、さらにその先までを網羅する12の重要なステップで構成されています。「ART実行のコーチング」は7番目のステップであり、最初のARTが立ち上げられ、SAFeプログラムコンサルタント（SPC）またはその他の専門家によってコーチングされます。
ARTとバリューストリームをさらに展開することは8番目のステップであり、最初のARTの学習と成功に基づいて、企業はSAFeの実装を他のバリューストリームとARTに拡大します。参考文献：
SAFe導入ロードマップ、ART実行のコーチング、ARTおよびバリューストリームの拡充

質問: **40**
どのタイプのチームが 専門的な能力で他のチームを支援し、より
新しい技術に精通している？
A. ストリームに沿ったチーム
B. 支援チーム
C. プラットフォームチーム
D. 複雑なサブシステムチーム
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **41**
ARTイベントの円滑な運営と障害の排除を担当するのはどの役割ですか？
A. システムアーキテクト
B. スクラムマスター
C. 事業主
D. プロダクトオーナー
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **42**
アジャイルリリーストレイン（ART）イベントについて、正しい記述はどれですか？
A. これらはAPMOによって促進されます
B. ソリューショントレイン内のART間の調整に使用されます
C. ポートフォリオレビューが含まれます
D. 計画 -実行 -確認 -調整のサイクルを作り出す
正解: **(**正解を表示します**)**
SAFeワークブックでは、ARTイベントがどのようにフィードバック主導型のサイクルを形成するかが明確に説明されています。

PIプランニング、イテレーションプランニング、レビュー、レトロスペクティブといったARTイベントは、計画 -実行 -評価 -調整（PDCA）の学習サイクルを形成します。」この継続的な改善サイクルにより、ARTの実行全体を通して適応と学習が可能になります。
参考資料 :SAFeワークブック、PIプランニングモジュール

質問: **43**
PIプランニングイベントにおいて、計画の調整はいつ合意されるのですか？
A. スクラム -オブ -スクラムズ中
B. 分科会中
C. 経営レビューと問題解決の過程で
D. 計画案の見直し中
正解: **(**正解を表示します**)**
ワークブックのPI計画アジェンダには、次の項目が含まれています。
「計画案のレビュー後、RTEはビジネスオーナー、製品管理部門、その他の関係者とのマネジメントレビューおよび問題解決会議を円滑に進めます。ここで、キャパシティと負荷の調整、スコープの変更、計画の調整について合意がなされます。」出典 :ワークブック、PIプランニングモジュール、4-70ページ

質問: **44**
アジャイルリリーストレインのイベントの一つは何ですか？
A. 反復の振り返り
B. バックログの精緻化
C. ソリューションデモ
D. プロダクトオーナーとの同期
正解: **(**正解を表示します**)**
* プロダクトオーナー同期（PO同期）は、アジャイルリリーストレイン（ART）における重要なイベントであり、プロダクトオーナーとその他のステークホルダーが共通のビジョンと目標に向かって作業を進めていることを確認するためのものです。
* これは、コラボレーション、知識共有、意思決定を促進し、最終的にはARTにとってより良い結果につながります。
参考文献：
SAFe® 6.0 リファレンスガイド：「プロダクトオーナー同期は、ART に関わるすべてのプロダクトオーナーおよびその他のステークホルダーが定期的に集まり、連携を図り、コラボレーションを促進するための会議です。」(セクション 4.3.4) SAFe® 6.0 実装ロードマップ：「プロダクトオーナー同期は、すべてのプロダクトオーナーが効果的かつ効率的に協力して作業していることを保証するために不可欠なイベントです。」(セクション 5.3.5)

質問: **45**

階層システムの安定性を活用しつつ、起業家ネットワークのスピードと革新性を回復させることの利点は何でしょうか？
A. 継続的な学習文化
B. 顧客中心主義
C. 機能別サイロ
D. デュアルオペレーティングシステム
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **46**
アジャイルリリーストレインのイベントの一つは何ですか？
A. ソリューションデモ
B. プロダクトオーナーとの同期
C. 反復の振り返り
D. バックログの精緻化
正解: **(**正解を表示します**)**

有効的な**SAFe-Agilist**問題集はJPNTest.com提供され、**SAFe-Agilist**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**SAFe-Agilist**試験問題集を提供します。JPNTest.com SAFe-Agilist試験問題集はもう更新されました。ここで**SAFe-Agilist**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/SAFe-Agilist-mondaishu　**113**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **47**
LACEはアジャイル成長ライフサイクルにおいて、どの経路をたどるでしょうか？
A. スケーラブル ・アジャイル ・フレームワーク
B. SAFe導入ロードマップ
C. ビジネスアジリティの7つのコアコンピテンシー
D. アジャイル成熟度ロードマップ
正解: **(**正解を表示します**)**
リーン ・アジャイル ・センター ・オブ ・エクセレンス（LACE）は、変革を実現する上で重要な役割を果たし、SAFe導入ロードマップに沿って活動します。
「LACEはSAFe導入ロードマップを使用して変革を導きます…このロードマップは、転換点に到達することからSAFeの維持と加速に至るまでの段階的な戦略を概説しています。」
参照 :SAFeワークブック、レッスン6 「変革をリードする」、6-17ページ

質問: **48**

階層システムの安定性を活用しつつ、起業家ネットワークのスピードと革新性を回復させることの利点は何でしょうか？
A. デュアルオペレーティングシステム
B. 機能別サイロ
C. 継続的な学習文化
D. 顧客中心主義
正解: **A** (コメントを発表する)
デュアルオペレーティングシステムを採用することで、階層型システムの安定性を活用しながら、起業家ネットワークのスピードとイノベーションを回復できるというメリットが得られます。デュアルオペレーティングシステムとは、2つの補完的な構造を組み合わせた企業組織化の手法です。1つは安定性、整合性、効率性を提供する従来の階層構造、もう1つはスピード、俊敏性、創造性を提供する権限を与えられたチームのネットワークです。デュアルオペレーティングシステムは、企業が組織の俊敏性を達成するのに役立ちます。組織の俊敏性は、SAFeにおけるビジネスアジリティの中核的な能力の1つです。参考文献：組織の俊敏性、デュアルオペレーティングシステム

質問: **49**
顧客が生産者から価値を引き出すためには、どのような考え方が必要でしょうか？
A. リーン
B. システム
C. デザイン
D. 顧客中心主義
正解: **A** (コメントを発表する)
リーン思考とは、顧客が生産者から価値を引き出すことを可能にする思考法です。リーン思考は、無駄を排除し、価値提供を最適化することを目的とした哲学であり、一連の原則と実践方法です。
プルとは、顧客または次のプロセスからの需要が発生するまで、何も製造または納品しないという概念です。プルは過剰生産、在庫、待ち時間を削減し、価値のある作業のみが行われることを保証します。参考文献 :Thriving in the Digital Age、SAFe Principle #1

質問: **50**
SAFeのリーン ･アジャイル原則のうち、 意思決定を最後の責任ある瞬間まで延期する」という重要な部分を含むのはどれですか？
A. 作業システムの客観的評価に基づいてマイルストーンを設定する
B. 変動性を想定する。オプションを維持する。
C. 迅速かつ統合された学習サイクルで段階的に構築する
D. 価値の流れを途切れることなく確保する
正解: (正解を表示します)

質問: **51**

リーンハウスのどの柱が、仮説が否定された際に、組織が容赦なく、罪悪感なく方向転換することを保証するのでしょうか？
A. 絶え間ない改善
B. 人と文化への敬意
C. イノベーション
D. リーダーシップ
正解: **A** (コメントを発表する)
リーンハウスの 絶え間ない改善」という柱は、以下の点を支えています。
事実に基づいて改善を進めよう」とし、 仮説を検証し、容赦なく、罪悪感なく変化を受け入れる」学習とイノベーションの文化を奨励する。

質問: **52**
ポートフォリオと企業戦略を結びつけるものは何ですか？
A. 特徴
B. 企業目標
C. 戦略的テーマ
D. 解決意図
正解: **C** (コメントを発表する)
ワークブックでは、戦略的テーマが以下のように強調されています。
事業目標を差別化することで、ポートフォリオを企業戦略に結びつけることができます。」これらは、組織全体の予算編成とビジョンの整合性のためのコンテキストを提供します。
出典:01 ワークブック SA (6.0).pdf、5-13 ページ

質問: **53**
PIプランニングの最後に、依存関係が解消され、リスクが対処された後に、信任投票が行われます。
信任投票のプロセスを最もよく表しているのはどれですか？
A. チームとARTsの投票
B. 各人が投票する
C. 事業主の投票
D. マネージャーが投票します
正解: (正解を表示します)
SAFe Agilist 6.0のPIプランニング領域によると、信頼投票とは次のようなプロセスである。
* 各チームは、指 5人組の拳）または遠隔イベントの場合はデジタルツールを使用して投票を行います。
* チームは一連の目標に対する信頼度について投票し、信頼度が十分に高ければ、目標の集合が確定ART計画となる。

リリーストレインエンジニアは、チームの目標をART PI目標にまとめ、経営陣への伝達に適した形式にする。
https://scaledagileframework.com/pi-planning/

質問: **54**
対象市場を継続的に理解するための方法は何か？
A. デザイン思考
B. 参加型予算編成
C. リーンポートフォリオマネジメント
D. リーンシステムエンジニアリング
正解: **A** (コメントを発表する)

質問: **55**
SAFeのコアバリューのうち、 共通言語の使用」と 顧客理解」を含むものはどれですか？
A. アライメント
B. 絶え間ない改善
C. 人への敬意
D. 透明性
正解: **A** (コメントを発表する)
説明
コアバリュー - スケーラブルアジャイルフレームワーク
SAFeコアバリューのSAFe Agilist 6.0ドメインによると、アライメントはSAFeの有効性に不可欠な基本理念を表す4つのコアバリューの1つです1。アライメントには以下のプラクティスが含まれます。
ビジョン、ミッション、戦略を伝える
戦略と実行を結びつける
共通言語で話す
理解度を常に確認する
顧客を理解する
流れを確立する
分散型意思決定を可能にする

質問: **56**
SAFeのコアバリューのうち、組織全体における透明性と信頼に焦点を当てているのはどれですか？
A. プログラム実行
B. アライメント
C. 内蔵品質
D. 透明性
正解: (正解を表示します)

質問: **57**
スクラムマスターの役割にはどのようなものがありますか？
A. スクラムフレームワークとの相互作用を指導する
B. ARTの障害をエスカレートさせる
C. 反復計画の準備が整っているものを優先順位付けして特定する
D. すべてのチームイベントを円滑に進めるため
正解: **D** (コメントを発表する)

質問: **58**
バリューストリームの必要性を引き起こす要因は何ですか？
A. スパイク要求
B. 壮大なリクエスト
C. ユーザーストーリーリクエスト
D. 機能リクエスト
正解: (正解を表示します)
説明
SAFe Agilist 6.0のリーン思考のドメインによると、バリューストリームは、新機能、変更要求、欠陥修正などの何らかの価値に対する要求によってトリガーされます1。機能とは、ステークホルダーのニーズを満たすサービスです2。したがって、機能要求はバリューストリームの有効なトリガーとなります。
スパイク要求は、技術的な不確実性やリスクに対処する探索イネーブラーの一種です。3
ユーザーストーリー要求は、エンドユーザーの目標や機能を表すバックログ項目の一種です。4 これらはバリューストリームのトリガーではなく、バリューストリームを通過する作業項目です。

質問: **59**
SAFeのコアバリューのうち、2つを挙げてください。（2つ選択してください。）
A. 絶え間ない改善
B. プログラム実行
C. 透明性
D. 文化
E. 流れ
正解: (正解を表示します)

質問: **60**
デザイン思考に関連するツールの一つは何ですか？
A. 行動主導型開発
B. ソリューションキャンバス
C. 共感マップ

D. 発散的特徴分解
正解: **C** (コメントを発表する)
デザイン思考のセクションでは、ワークブックには以下のように記載されています。
「共感マップを使って顧客とつながりましょう…これはチームが顧客に対する深い共通理解と共感を育むのに役立ちます。」このツールはユーザーの視点を把握する上で不可欠であり、デザイン思考の重要な実践方法の一つです。
出典：01 Workbook SA (6.0).pdf、4-7ページから4-9ページ

質問: **61**
最終計画レビューの際、ART PIのリスクはROAM化されます。ROAMの各文字は何を表していますか？
A. 解決済み。所有者、アクティブ、緩和済み
B. 解決済み。所有済み。割り当て済み。軽減済み
C. 解決済み。所有権、承認済み、軽減済み
D. 解決済み、所有済み、承認済み。軽減済み
正解: **C** (コメントを発表する)
ROAMは、Resolved（解決済み）、Owned（所有済み）、Accepted（承認済み）、Mitigated（軽減済み）の頭文字をとった略語です。ROAMは、PI（プロジェクト実施）計画イベントにおける最終計画レビュー中にPIリスクを分類・管理するための手法です。PIリスクとは、PIの目標や成果に悪影響を及ぼす可能性のある事象や状況のことです。ROAMは、PIリスクを次の4つの状態のいずれかに割り当てることで、チームがPIリスクに対処するのに役立ちます。解決済み（リスクが排除された、またはもはや関係がない）、所有済み（リスクが管理責任者または管理チームに割り当てられている）、承認済み（リスクが認識され、その影響が計画に反映されている）、軽減済み（リスクが軽減された、または発生確率が低下している）。参考文献：PI計画、最終計画レビュー

有効的な**SAFe-Agilist**問題集はJPNTest.com提供され、**SAFe-Agilist**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**SAFe-Agilist**試験問題集を提供します。JPNTest.com SAFe-Agilist試験問題集はもう更新されました。ここで**SAFe-Agilist**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/SAFe-Agilist-mondaishu （**113**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **62**
SAFe導入ロードマップにおいて、コーチART実行の次に続く導入ステップはどれですか？
A. 価値を中心とした組織化
B. 経営幹部、リーダー、マネージャーの育成
C. 加速

D. より多くのARTとバリューストリームを立ち上げる
正解: **D** (コメントを発表する)

質問: **63**
SAFeのコアバリューの一つは何ですか？
A. 文化
B. 透明性
C. リーン ･アジャイル ･リーダーシップ
D. フロー
正解: (正解を表示します)
透明性はSAFeのコアバリューの一つです。SAFeのコアバリューとは、SAFe企業における行動や活動の指針となる基本的な信念のことです。透明性とは、戦略、計画、進捗状況、リスク、課題に関するすべての関連情報が、必要とするすべての人に公開され、可視化されることを意味します。
透明性は、SAFeエンタープライズ内のすべてのステークホルダー間の信頼、連携、コラボレーション、学習の構築に役立ちます。参考資料 :SAFeコアバリュー、透明性

質問: **64**
SAFeにおける組み込み品質の目標は何ですか？
A. あらゆる工程に品質を組み込む
B. 開発後に品質検査を行う
C. 品質管理はQAチームのみに割り当てます。
D. リリースまでテストを延期する
正解: (正解を表示します)

質問: **65**
組織でアジャイル開発を導入する主な理由を2つ挙げてください。（2つ選択してください）
A. 製品配送の迅速化
B. 優先順位の変更を可能にする
C. 意思決定の集中化
D. 変化を減らす
E. プロジェクトコストを削減する
正解: (正解を表示します)
このワークブックには、SAFeとアジャイル導入による以下のような複数のメリットが記載されています。
SAFeの事例研究やビジネスアジリティ指標において、一貫して主要な動機付け要因として挙げられているのが、「市場投入までの時間短縮」と「変化する優先順位への対応能力」である。

質問: **66**

SAFeは顧客中心主義をどのように説明していますか？
A. 顧客中心の製品を作るために採用される一連の手法
B. 絶えず変化する顧客市場のニーズを満たすための戦略として
C. 最高のイノベーションを生み出す顧客行動に焦点を当てた考え方
D. 顧客を日々の業務プロセスや計画に組み込むための取り組み方
正解: **(**正解を表示します**)**
SAFeでは、顧客中心主義を次のように説明しています。顧客中心主義は、SAFeにおけるビジネスアジリティの中核となる能力の一つです。顧客中心主義とは、企業が行うすべての活動の中心に顧客を据え、顧客のニーズ、願望、そして問題を深く理解することを意味します。また、顧客中心主義とは、憶測や意見に頼るのではなく、最高のイノベーションを生み出す顧客の行動を観察し、そこから学ぶことに焦点を当てた考え方を採用することも意味します。顧客中心主義は、企業が顧客を喜ばせ、市場での差別化を実現するソリューションを提供することを支援します。参考文献：顧客中心主義

質問: **67**
ARTにおける全チームの連携した活動を実証するために用いられるイベントはどれですか？
A. バックログの精緻化
B. 反復レビュー
C. システムデモ
D. デイリースタンドアップ
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **68**
SAFeのコアバリューの一つは何ですか？
A. 文化
B. 透明性
C. リーン ･アジャイル ･リーダーシップ
D. フロー
正解: **(**正解を表示します**)**
説明
透明性はSAFeのコアバリューの一つです。SAFeのコアバリューとは、SAFe企業における行動や活動の指針となる基本的な信念のことです。透明性とは、戦略、計画、進捗状況、リスク、課題に関するすべての関連情報が、必要とするすべての人に公開され、可視化されることを意味します。
透明性は、SAFeエンタープライズ内のすべてのステークホルダー間の信頼、連携、コラボレーション、学習の構築に役立ちます。参考資料 :SAFeコアバリュー、透明性

質問: **69**
フローを最適化するとは、何を特定することでしょうか？

A. 遅延
B. 列車の予測可能性の問題
C. 革新性に欠ける活動
D. 主要業績評価指標
正解: **(**正解を表示します**)**
ワークブックでは、フローの最適化が以下の要素に大きく依存していることを詳しく説明しています。
「プロセスのほとんどの問題は遅延として現れます。遅延を減らすことが、市場投入までの時間を短縮する最も速い方法です。」したがって、フローを最適化する際には、遅延を特定して排除することが重要な活動となります。
出典 :ワークブック、2-11ページ

質問: **70**
ある企業が、実装ロードマップを使用してSAFeの導入を開始しました。現在、経営幹部、マネージャー、リーダー向けの研修を実施中です。次のステップは何でしょうか？
A. 初のARTを発売
B. 組織の報告体制を再編成する
C. バリューストリームとアジャイルリリーストレインを特定する
D. ポートフォリオに拡張して、より良い流れを実現します
正解: **(**正解を表示します**)**
SAFe導入ロードマップは、変革活動を順序立てて示すものです。リーダーのトレーニング後、次のステップは次のとおりです。
「バリューストリームとARTを特定する - このステップは、価値を中心に組織を構築し、将来のトレインが価値提供と整合するようにするために不可欠です。」参照 :SAFeワークブック、6-12ページ、SAFe実装ロードマップ

質問: **71**
DevOpsモデルを使用して継続的にデプロイする場合、次のうち正しい記述はどれですか？
A. 本番環境にデプロイされた変更が常にエンドユーザーに即座に利用可能であることを保証します。
B. アジャイルチームのスキルセットへの依存度を軽減します
C. 放出不良の深刻度と頻度を軽減します
D. 取引コストが増加します
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **72**
プログラムボードには、どの2つの項目が表示されていますか？ 2つ選択してください）
A. 特徴
B. 容量と負荷

C. エピック
D. 物語
E. 重要な依存関係
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **73**
「機会を捉える」MVP（最小実行可能製品）に資金を投入する」「方向転換か継続か」「継続的に価値を提供する」とはどういう意味ですか？
A. SAFeのコアバリュー
B. ビジネスアジリティバリューストリームのステップ
C. フローアクセラレーター
D. SAFeリーン・アジャイル原則
正解: **(**正解を表示します**)**
正確な抜粋に基づく包括的かつ詳細な説明：
「機会の感知」、「MVPへの資金提供」、「方向転換または継続」、「継続的な価値の提供」は、SAFe 6.0のビジネスアジリティバリューストリーム（BAVS）の正式なステップ名です。SAFe 6.0では、BAVSは、企業が機会を迅速に探索し、MVPを通じて仮説に資金を提供してテストし、証拠に基づいて「方向転換または継続」の決定を行い、その後、継続的に価値を拡張して提供するために使用するエンドツーエンドのステップを説明しています。（注：「Preserve」のスペルミスを修正しました # Persevere）。
補足として、SAFe 6.0ではBAVSのステップを以下のように定義しています。
* 機会を察知する
* ファンドMVP
* 価値に基づいて組織化する
* 顧客とつながる
* MVPを提供する
方向転換するか、それとも継続するか
継続的に価値を提供する
これらの用語は、SAFeによって標準的なステップ名（固有名詞）として提示されており、SAFe 6.0のウェブサイトおよびSA（SAFeアジリスト）の学習教材において、ビジネスアジリティバリューストリームを説明する際に一貫して使用されています。
参考文献（SAFe 6.0の信頼できる情報源）：
* Scaled Agile Framework (SAFe 6.0) - Business Agility Value Stream (BAVS)（上記の手順を一覧表示し、各手順の目的を説明する公式のSAFe記事）
* SAFe Agilist (SA) 試験対策ガイド (v6.0) - ビジネスアジリティとビジネスアジリティバリューストリームに関するトピック
* 関連するSAFe 6.0ページ：リーンポートフォリオマネジメント、価値中心の組織化、顧客中心主義とデザイン思考、継続的デリバリーパイプライン

質問: **74**
どの役割がART内の複数のチームの調整を支援するのでしょうか？
A. ビジネスアナリスト
B. プロダクトオーナー
C. 列車の運行エンジニアを解放する
D. ソリューションマネージャー
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **75**
クロスファンクショナルなアジャイルチームを説明する一つの方法は何ですか？
A. それらは、それぞれがシステムを定義、開発、テスト、展開できる個人で構成されています。
B. 顧客製品を継続的に生産に投入する
C. 6週間ごとに価値を提供します
D. コミュニケーションと価値提供に最適化されています
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **76**
ポートフォリオカンバンシステムの分析ステップには、完成したリーンビジネスケースを含む新しいエピックが追加されました。
Epicの次のステップを最もよく表す言葉は何でしょうか？
A. エピックオーナーがリーンビジネスケースを承認したら、実施されます。
B. 最も高い加重最短ジョブ優先（WSJF）ランキングを持つ場合に実施されます。
C. リーンポートフォリオマネジメントから「実行」の決定を受けた場合、ポートフォリオカンバンで準備完了状態に移行します。
D. 1つ以上のアジャイルリリーストレインがそれを実装する能力を持つまで、分析段階にとどまります。
正解: **(**正解を表示します**)**
ポートフォリオカンバンの分析ステップでリーンビジネスケースが完成したエピックの次のステップは、リーンポートフォリオマネジメントから「実行」の決定を受けた場合、準備完了状態に移行することです。分析ステップでは、エピックの仮説ステートメントとリーンビジネスケースが開発され、検証されます。リーンビジネスケースは、エピックの経済的正当性、前提条件、リスク、および潜在的なメリットを提供します。リーンポートフォリオマネジメントは、リーンビジネスケースをレビューおよび承認し、エピックへの資金提供と実装の可否を決定する権限を持つ組織です。エピックが「実行」の決定を受けた場合、準備完了状態に移行し、実装能力の確保を待ちます。エピックが「実行不可」の決定を受けた場合、延期またはキャンセルされます。参照 :ポートフォリオカンバン、リーンポートフォリオマネジメント

有効的な**SAFe-Agilist**問題集はJPNTest.com提供され、**SAFe-Agilist**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**SAFe-Agilist**試験問題集を提供します。JPNTest.com SAFe-Agilist試験問題集はもう更新されました。ここで**SAFe-Agilist**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/SAFe-Agilist-mondaishu 　**113**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **77**
交渉後、チームPIの目標ビジネス価値スコアリングは誰が決定するのですか？
A. 事業主
B. アジャイルチーム
C. RTE
D. 製品管理
正解: **(**正解を表示します**)**
説明
事業主は、交渉を経てチームのPI目標の事業価値スコアリングを決定する人物です。
ビジネスオーナーは、特定のバリューストリームにおけるガバナンス、コンプライアンス、投資収益率（ROI）に関して、主要なビジネスおよび技術的な責任を負う重要なステークホルダーです。ビジネスオーナーはPI計画イベントに参加し、プログラムのビジョンと目標との整合性に基づいて、各チームのPI目標にビジネス価値ポイントを割り当てます。また、チームとプログラムのリスクが解決された後、最終的な計画と価値スコアを確認し、承認します。参考文献：PI計画、ビジネスオーナー

質問: **78**
DevOpsの重要な目的の一つは何ですか？
A. DevOpsは、大規模システムに適用される一連のプラクティスに焦点を当てています。
B. DevOpsは、スケーラブルな継続的デリバリーパイプラインを構築することで、継続的なリリースを可能にします。
C. DevOpsは、トランザクションコストを削減するために、デリバリーパイプラインの自動化に重点を置いています。
D. DevOpsは開発と運用を統合し、継続的デリバリーを実現します。
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **79**
SAFeのコアバリューのうち、「共通言語の使用」と「顧客理解」を含むものはどれですか？
A. 透明性
B. 人への敬意
C. 絶え間ない改善
D. アライメント

正解: (正解を表示します)

質問: **80**
分散型の意思決定環境においても、どのタイプの意思決定は中央集権的に行うべきでしょうか？
A. 遅延によるコストが高い決定
B. 大規模かつ広範な経済的利益をもたらす決定
C. 頻繁に行われる決定
D. 地域情報を必要とする決定
正解: (正解を表示します)
大規模かつ広範な経済的利益をもたらす意思決定は、分散型意思決定環境においても中央集権的に維持されるべき種類の意思決定です。分散型意思決定とは、個人やチームが他者からの過度な干渉や統制を受けることなく、自らの業務に関する意思決定を行えるようにする原則と実践です。分散型意思決定は、知識労働者の自律性、俊敏性、革新性、そしてオーナーシップを促進します。しかし、権限、情報、専門知識をより多く持つ人々が中央集権的に決定する方が良い意思決定もあります。これには、戦略、ビジョン、予算編成、ガバナンス、コンプライアンスなど、企業全体またはポートフォリオ全体に影響を与える意思決定が含まれます。参考文献 :SAFe Lean-Agile Principles、SAFe Principle #9

質問: **81**
階層システムの安定性を活用しつつ、起業家ネットワークのスピードと革新性を回復させることの利点は何でしょうか？
A. デュアルオペレーティングシステム
B. 機能別サイロ
C. 継続的な学習文化
D. 顧客中心主義
正解: (正解を表示します)
説明
デュアルオペレーティングシステムを採用することで、階層型システムの安定性を活用しながら、起業家ネットワークのスピードとイノベーションを回復できるというメリットが得られます。デュアルオペレーティングシステムとは、2つの補完的な構造を組み合わせた企業組織化の手法です。1つは安定性、整合性、効率性を提供する従来の階層構造、もう1つはスピード、俊敏性、創造性を提供する権限を与えられたチームのネットワークです。デュアルオペレーティングシステムは、企業が組織の俊敏性を達成するのに役立ちます。組織の俊敏性は、SAFeにおけるビジネスアジリティの中核的な能力の1つです。参考文献：組織の俊敏性、デュアルオペレーティングシステム

質問: **82**
アジャイルリリーストレインのイベントの一つは何ですか？
A. 反復の振り返り

B. バックログの精緻化
C. ソリューションデモ
D. プロダクトオーナーとの同期
正解: **D** (コメントを発表する)
説明
プロダクトオーナー同期（PO同期）は、アジャイルリリーストレイン（ART）における重要なイベントであり、プロダクトオーナーとその他のステークホルダーが共通のビジョンと目標に向かって取り組んでいることを確認するためのものです。
これは、コラボレーション、知識共有、意思決定を促進し、最終的にはARTにとってより良い結果につながります。
参考文献：
SAFe 6.0 リファレンスガイド：「プロダクトオーナー同期は、ART に関わるすべてのプロダクトオーナーおよびその他のステークホルダーが定期的に集まり、連携を図り、コラボレーションを促進するための会議です。」(セクション 4.3.4) SAFe 6.0 実装ロードマップ：「プロダクトオーナー同期は、すべてのプロダクトオーナーが効果的かつ効率的に協力して作業していることを保証するために不可欠なイベントです。」(セクション 5.3.5)

質問: **83**
専門的な能力を持つ他のチームを支援し、新しい技術への習熟度を高めるために組織されるチームの種類はどれですか？
A. 支援チーム
B. プラットフォームチーム
C. ストリームに沿ったチーム
D. 複雑なサブシステムチーム
正解: **A** (コメントを発表する)
イネーブリングチームとは、専門的な能力を持つ他のチームを支援し、新しいテクノロジーへの習熟度を高めるために組織された、クロスファンクショナルなアジャイルチームの一種です。イネーブリングチームは、DevOps、テスト自動化、セキュリティ、コンプライアンスなどの分野で、他のチームにコーチング、メンタリング、トレーニング、技術指導を提供します。イネーブリングチームは、他のチームがSAFeにおけるコアコンピテンシーであるテクニカルアジリティを達成できるよう支援します。参考文献 :クロスファンクショナルアジャイルチーム、テクニカルアジリティ

質問: **84**
DevOpsモデルを使用して継続的にデプロイする場合、次のうち正しい記述はどれですか？
A. 新たな顧客ニーズの特定に役立ちます
B. デプロイとリリースが同じものであることを保証します
C. 取引コストが増加します
D. 顧客に価値をより頻繁に提供しやすくなります

正解: **D** (コメントを発表する)

質問: **85**
交渉後、チームPIの目標ビジネス価値スコアリングは誰が決定するのですか？
A. 事業主
B. 製品管理
C. RTE
D. アジャイルチーム
正解: (正解を表示します)

質問: **86**
リーン思考の焦点は何ですか？
A. 人々と文化への敬意を確保する
B. 進捗状況の客観的な測定方法の実施
C. 遅延の削減
D. 反復的な開発プロセスへの移行
正解: **C** (コメントを発表する)
遅延の削減はリーン思考の焦点です。リーン思考とは、無駄を排除し、価値提供を最適化することを目的とした哲学であり、一連の原則と実践です。無駄とは、顧客価値に直接貢献しないもの、または価値提供の遅延を引き起こすものすべてを指します。遅延は、在庫、リスク、変動性、間接費、そして顧客満足度の低下を招くため、無駄の主な原因となります。遅延を削減することは、顧客のニーズから価値提供までの時間を最小限に抑えることを意味し、品質、効率性、そして顧客満足度の向上につながります。参考文献 :Thriving in the Digital Age、SAFe Principle #2

質問: **87**
アジャイルマニフェストの価値観を表す記述はどれですか？
A. 継続的な社内対話における顧客との協働
B. 契約交渉における顧客との協働
C. 顧客との継続的な協働
D. 機能交渉における顧客との協働
正解: (正解を表示します)
説明
この記述は、アジャイルマニフェストの価値観の一つです。アジャイルマニフェストは、アジャイルソフトウェア開発を導く4つの価値観と12の原則を宣言したものです。4つの価値観とは、プロセスやツールよりも個人と相互作用を重視すること、包括的なドキュメントよりも動作するソフトウェアを重視すること、契約交渉よりも顧客との協働を重視すること、そして計画に従うことよりも変化に対応することです。契約交渉よりも顧客との協働を重視するとは、アジャイルチームが柔軟性と創造性を制限する硬直的な契約に頼るので

はなく、信頼、フィードバック、共通理解に基づいた顧客との強固な関係構築を重視することを意味します。参考文献 :デジタル時代の繁栄、アジャイルマニフェスト

質問: **88**
PIプランニングイベントにおいて、計画の調整はいつ合意されるのですか？
A. 計画案の見直し中
B. 経営レビューおよび問題解決会議中
C. コーチ同期中
D. 分科会中
正解: **(**正解を表示します**)**
計画の調整は、PI計画イベントにおけるマネジメントレビューおよび問題解決会議で合意されます。マネジメントレビューおよび問題解決会議は、PI計画イベントの1日目の終わりに開催されるセッションです。このセッションでは、マネジメントチームがART内の全チームの計画案をレビューし、解決すべき問題やリスクを特定し、プログラム目標達成に必要な変更や調整を提案します。その後、マネジメントチームはPI計画イベントの2日目に、フィードバックと推奨事項を各チームに伝達します。参考文献 :PI計画、マネジメントレビューおよび問題解決

質問: **89**
SAFeのどの原則が、経済性に基づいて意思決定を行うことを重視していますか？
A. 価値を中心に組織する
B. システム思考を適用する
C. 迅速な学習サイクルで段階的に構築する
D. 経済的な観点から考える
正解: **D (**コメントを発表する**)**

質問: **90**
SAFeのどのコンピテンシーが顧客中心主義とデザイン思考に焦点を当てていますか？
A. チームと技術の俊敏性
B. エンタープライズソリューションの提供
C. アジャイル製品開発
D. リーンポートフォリオマネジメント
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **91**
交渉後、チームPIの目標ビジネス価値スコアリングは誰が決定するのですか？
A. スクラムチーム
B. プロダクトマネージャー
C. 事業主
D. アジャイルチーム

正解: (正解を表示します)
このワークブックには以下の内容が明確に記載されています。
「ビジネスオーナーは、交渉後、PI目標に1（低から10（高までのビジネス価値（BV）スコアを割り当てます。これらのスコアは、チームがビジネスにとって何が最も重要かを理解するのに役立ちます。」出典：SAFeワークブック、PIプランニングシミュレーションセクション

有効的な**SAFe-Agilist**問題集はJPNTest.com提供され、**SAFe-Agilist**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**SAFe-Agilist**試験問題集を提供します。JPNTest.com SAFe-Agilist試験問題集はもう更新されました。ここで**SAFe-Agilist**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/SAFe-Agilist-mondaishu　**113**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **92**
分散型の意思決定環境においても、どのタイプの意思決定は中央集権的に行うべきでしょうか？
A. 遅延によるコストが高い決定
B. 大規模かつ広範な経済的利益をもたらす決定
C. 頻繁に行われる決定
D. 地域情報を必要とする決定
正解: **B** (コメントを発表する)
説明
大規模かつ広範な経済的利益をもたらす意思決定は、分散型意思決定環境においても中央集権的に維持されるべき種類の意思決定です。分散型意思決定とは、個人やチームが他者からの過度な干渉や統制を受けることなく、自らの業務に関する意思決定を行えるようにする原則と実践です。分散型意思決定は、知識労働者の自律性、俊敏性、革新性、そしてオーナーシップを促進します。しかし、権限、情報、専門知識をより多く持つ人々が中央集権的に決定する方が良い意思決定もあります。これには、戦略、ビジョン、予算編成、ガバナンス、コンプライアンスなど、企業全体またはポートフォリオ全体に影響を与える意思決定が含まれます。参考文献：SAFe Lean-Agile Principles、SAFe Principle #9

質問: **93**
SAFeにおいて、ケイデンスと同期を適用する例を教えてください。
A. PI計画イベントの実施
B. バリューストリームへの予算配分
C. クロスファンクショナルARTとアジャイルチームの構築
D. ポートフォリオカンバンシステムの使用

正解: **(**正解を表示します**)**
説明
PIプランニングイベントの実施は、SAFeにおけるケイデンスと同期化の適用例です。ケイデンスとは、開発のリズムを提供する、規則的で予測可能なイベントパターンです。同期化とは、ケイデンス内で複数の視点と活動を整合させることです。PIプランニングは、通常8～12週間の期間である各プログラムインクリメント (PI) の開始時に行われる2日間のイベントです。PIプランニングでは、ART内のすべてのチームが集まり、共通のビジョンを共有し、依存関係を特定し、機能を計画し、目標を設定し、次のPIの計画にコミットします。参考資料 :ケイデンスに基づく開発、オンデマンドリリース、PIプランニング

質問: **94**
新しい機能をより頻繁に提供するために必要なワークフロー、アクティビティ、および自動化を表すものは何ですか？
A. ポートフォリオカンバン
B. PI計画プロセス
C. 継続的デリバリーパイプライン
D. リーン予算のガードレール
正解: **C (**コメントを発表する**)**
説明
継続的デリバリーパイプラインは、新機能をより頻繁に提供するために必要なワークフロー、アクティビティ、および自動化を表します。継続的デリバリーパイプラインは、SAFeのビジネスアジリティの中核となる能力の 1 つです。継続的デリバリーパイプラインは、継続的探索、継続的インテグレーション、継続的デプロイメント、オンデマンドリリースの 4 つの要素で構成されています。これらの要素は、チームが顧客のニーズを継続的に探索し、高品質のソリューションを開発し、さまざまな環境にデプロイし、顧客が望むタイミングと場所でリリースするのに役立ちます。参考文献:
アジャイル製品開発、継続的デリバリーパイプライン

質問: **95**
専門的な能力で他のチームを支援し、新しい技術への習熟度を高めるよう手助けするために組織された」チームの種類はどれですか？
A. 複雑なサブシステムチーム
B. 支援チーム
C. ストリームに沿ったチーム
D. プラットフォームチーム
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **96**
新機能をより頻繁に提供するために必要なワークフロー、活動、および自動化を表すものは何ですか？

A. ポートフォリオカンバン
B. PI計画プロセス
C. 継続的デリバリーパイプライン
D. リーン予算のガードレール
正解: **(**正解を表示します**)**
継続的デリバリーパイプラインは、新機能をより頻繁に提供するために必要なワークフロー、アクティビティ、および自動化を表します。継続的デリバリーパイプラインは、SAFeのビジネスアジリティの中核となる能力の 1 つです。継続的デリバリーパイプラインは、継続的探索、継続的インテグレーション、継続的デプロイメント、オンデマンドリリースの 4 つの要素で構成されています。これらの要素は、チームが顧客のニーズを継続的に探索し、高品質のソリューションを開発し、さまざまな環境にデプロイし、顧客が望むタイミングと場所でリリースするのに役立ちます。参考文献:
アジャイル製品開発、継続的デリバリーパイプライン

質問: **97**
リーン ·アジャイルのリーダーが模範を示す方法の一つは何ですか？
A. チームのバックログの優先順位付けによって
B. 意思決定を集中化することによって
C. SAFeのリーン ·アジャイル思考、価値観、原則、実践をモデル化することで
D. 組織のボトルネックを回避するためにSAFeを変更する
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **98**
DevOpsモデルを使用して継続的にデプロイする場合、次のうち正しい記述はどれですか？
A. 顧客に価値をより頻繁に提供しやすくなります
B. 取引コストが増加します
C. デプロイとリリースが同じものであることを保証します
D. 顧客の新たなニーズを特定するのに役立ちます。
正解: **(**正解を表示します**)**
SAFeでは、継続的デプロイメントを次のように説明しています。
継続的デリバリーパイプラインの一側面であり、顧客への新機能の提供を迅速化するものです。」パイプラインを自動化し、デプロイメントとリリースを切り離すことで、企業はより頻繁かつ迅速に価値をリリースできるようになります。
参照 :SAFe用語集、 継続的デプロイメント」およびワークブック第4.5節

質問: **99**
デザイン思考に関連するツールの1つは何ですか？
A. 行動主導型開発

B. ポートフォリオキャンバス
C. 共感マップ
D. セットベースの設計
正解: **B** (コメントを発表する)
説明
ポートフォリオキャンバスは、デザイン思考に関連するツールの1つです。ポートフォリオキャンバスは、リーンポートフォリオの戦略的ビジョン、現状、望ましい成果、および主要要素を視覚的に表現したものです。ポートフォリオキャンバスは、チームがポートフォリオを企業戦略に整合させ、顧客価値を提供するバリューストリームを特定し、ポートフォリオのビジョンとロードマップを定義し、ポートフォリオのパフォーマンスと健全性を評価し、ポートフォリオのイニシアチブに優先順位を付けるのに役立ちます。ポートフォリオキャンバスは、チームがSAFeにおけるリーンポートフォリオマネジメントの中核能力を達成するのに役立ちます。参考文献 :リーンポートフォリオマネジメント、ポートフォリオキャンバス

有効的な**SAFe-Agilist**問題集はJPNTest.com提供され、**SAFe-Agilist**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**SAFe-Agilist**試験問題集を提供します。JPNTest.com SAFe-Agilist試験問題集はもう更新されました。ここで**SAFe-Agilist**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/SAFe-Agilist-mondaishu 📌**113**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」